

『知的財産マッチング支援事業』支援機関向け勉強会の終了報告

支援機関の皆様にご多数お集まりいただき 2015年7月15日(水)に開催されました

今年度、栃木県から受託しました新事業で、大企業や研究機関が保有する開放特許を活用した新商品開発や新事業創出を支援することにより、県内の中小企業の経営安定化や地域経済の活性化をめざしています。

本事業は、地域金融機関や、商工関連団体、自治体等の支援機関のネットワークやコーディネート機能が必要不可欠です。

支援機関の皆様へ、未永くご支援を賜りたいということと、自社商品を開発したいという強い意欲をお持ちの企業の紹介と、秋以降に開催予定の『知的財産ビジネスマッチング交流会』に関心を示し参加いただけそうな企業の紹介を、お願い致しました。

開催日時：平成27年7月15日(水) 14:00～16:00

開催場所：栃木県庁 本館 6階 大会議室2

テーマ：「開放特許を活用した中小企業のビジネス創出」

講師：富士通株式会社 ビジネス開発部 部長 吾妻 勝浩 氏

講演概要：まず、今まで行った知財活用連携活動をご紹介いただき、この新規ビジネスの規模とターゲット市場をご説明いただいた後、横浜市の中小製造業技術実態調査結果を分析解説され、「ものづくり」のプロセスについてご説明いただいた。

次に、中小企業向けの知財活動で重要なことや、知財活用コーディネーターの理想像や、地域で新ビジネスを創るにはとか、ライセンサー側のメリットをご説明いただいた。

最後に、現在活動中の大学との連携についてと「埼玉モデル」を報告され、わかりやすくまとめていただいた。

参加人数：56名（内訳：県内金融機関32名、自治体9名、
商工関連団体7名、企業6名、その他2名）



主催者 栃木県工業振興課 茂呂課長の挨拶



実施者 県産業振興センター 柳理事長の挨拶



富士通(株)ビジネス開発部吾妻部長のご講演



ほぼ満席の勉強会会場の様子